

# 交通問題 No.1 勉強会だより

## 乗ってみました！ 日進市の自動運転バス

森田優己

6月16日所用で訪れた日進市役所玄関前広場で自動運転バスを発見。おしゃれで可愛い！濃い紫色で縁取られた大きな窓に白をベースに紫、青、緑色で可愛い模様が描かれた白い車体。フランスからの納車時には真っ白の車体だったそうで、日進市の花をモチーフに外装は地元で施したとのこと。実証実験中、予約不要・無料で乗れるとのこと。早速体験することに。30分待って日進市役所発15時25分発に乗車、約30分かけて日進駅に到着。幸運なことに、乗客は私一人（定員11人）。説明上手な運転手さんと実証実験バスを占有し、太陽光もたくさん浴びてビタミンDの補給もたっぷりです。至福の時を過ごした。

この電気バスの自動運転レベルは2。運転手が車内に取り付けてあるタブレットと手に持ったコントローラーを操作して運転する。走行中は障害物をセンサーが検知したら停止し、運転手が手動で走行を開始する。停止と走行開始の際には、少しカクンカクンとした動きとなる。でも、さほど気にならない。

実証実験の走行ルートは日進市役所を起点に日進駅で折り返す一周約5.7kmであり、実証実験専用バス停だけでなく市のコミュニティバス（「くるりんバス」）の停留所にも停車する。何せ時速20kmでの走行。片道一車線道路では後ろに車がつながり、混雑時には渋滞を発生させることにもなりかねない。運転手が他の車に追い越してもらおうよう合図する、

また、追い越しできない場所では迂回路を走行する、など市域の道路状況に合わせてよく考えられている。

“人”もいい。実証実験に参加している名鉄バスの運転手さんはいうまでもなく、市役所玄関脇に設置されている案内所にいる「人材派遣センター」と書いたチョッキをきた男性も。市役所に集結してきた「くるりんバス」の発車時刻やルート、乗り継ぎの案内をテキパキとこなしていた。案内所には長椅子もある。

名古屋方面に帰る私のために、日進駅や赤池駅へアクセスできるバス（実証実験車、「くるりんバス」、名鉄バス）の発車時刻、所用時間、運賃などを親切に教えてくれた。ここには、コミュニティバスと民間バスとの共存の工夫も感じ取れる。

それはともかく、この日の私には、運賃の安さや所用時間の短さよりも好奇心を満たすことが一番価値あることだった。居合わせた高齢男性の「暇な人はそれに乗って行ったらいい」という言葉に送られて、さっそうと？自動運転バスに乗り込んだのだった。